



てき丸君News 第44号

発行：公益社団法人全国産業廃棄物連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

<http://www.zensanpairen.or.jp>

第36回理事会を開催「当連合会名称変更」、「振興法案大綱」など了承

当連合会の第36回理事会を10月11日に開催しました。

今回の理事会では、①全国産業廃棄物連合会の名称変更について、②委員会委員の選任について、③賛助会員への入会承認について、④平成30年度「第17回産業廃棄物と環境を考える全国大会」（平成30年11月16日、石川県・ホテル日航金沢での開催を予定）について、⑤平成30年度全国正会員会長・理事長会議の開催（平成31年2月、九州地域での開催を予定）について、の5つの議案を審議しました。

議案のうち、当連合会の名称案は「全国産業資源循環連合会」とすることを決定しました。来年2月に広島市で開催する正会員会長・理事長会議にあわせて臨時総会を招集して名称の変更を提案し、会員のご賛同を得られれば4月1日から新名称を施行することが了解されました。

また、法制度対策委員会のタスクフォースが検討してきた「資源循環を促進するための産業廃棄物処理産業の振興に関する法律案（仮称）」の「大綱案」に関する協議を行ったほか、報告事項では石井会長及び森谷専務理事が平成29年度上半期業務執行状況を報告しました。（総務部・古川）

●連合会の新名称案は「全国産業資源循環連合会」に決定●

平成29年10月11日に開催した第36回理事会において、名称変更の決議を行いました。

産業廃棄物処理業界は、産業廃棄物を処理する「受けて」から、産業廃棄物を「資源」や「エネルギー」に生まれ変わらせる「創り手」へと変貌を遂げつつあります。年間約4億トン排出される産業廃棄物。その約半分が再生利用され、最終処分量は僅か3%であることからこの変貌は明らかです。

連合会は、産業廃棄物の適正な処理を大前提に、業界における資源循環の取組を更に加速するため、各種事業を進めてまいります。引き続きましてのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。（総務部・桑田）

【今後のスケジュール（予定）】

- 平成30年2月23日：臨時総会を開催し、全国の正会員にお諮りします。

- ＊正会員会長・理事長会議開催時に臨時総会を招集する予定です。

- 平成30年4月1日：公益社団法人全国産業資源循環連合会発足

●振興法案大綱をホームページに掲載●

第36回理事会承認に基づき、「資源循環を促進するための産業廃棄物処理産業の振興に関する法律案（仮称）大綱」を下記の当連合会のホームページに掲載しています。

<http://www.zensanpairen.or.jp/taiko/>

全国産業廃棄物連合会政治連盟 第44回理事会を開催

全国産業廃棄物連合会政治連盟は、第44回理事会を10月10日に開催しました。

まず國中政治連盟理事長が「本日の主な議題は連合会のタスクフォース2で検討してきました振興法案を十分ご理解いただき、ご議論をお願いしたい。また、今回の衆議院選挙についての対応、平成30年度税制要望などの議題についてご検討いただきたい」と挨拶しました。

続いて石井連合会会長より「明日の連合会第36回理事会において審議の上、振興法案の大綱を11月初旬に公表を予定している。今後は立法府の先生方のご支援を頂き法律案の成立を図っていくこととなるので、よろしくお願いいたします」と挨拶がありました。

当日の議題等は、①「資源循環を促進するための産業廃棄物処理産業の振興に関する法律案」、②「平成30年度予算・税制に関する要望」、③「第48回衆議院議員総選挙」、④「廃棄物処理法改正及び政省令について」、⑤報告「平成29年収支予算実行状況（9月末現在）」でした。（政治連盟事務局長・土井）

労働災害防止計画を推進するための労働安全衛生標語(スローガン)の選考結果を発表

今般、当連合会安全衛生委員会(委員長:武田全弘)では、産業廃棄物処理業界が労働災害防止計画を推進していくに相応しい「労働安全衛生標語(スローガン)」を募集しました。全国から608作品の応募をいただきました。応募作品の選定は連合会・安全衛生委員会の各委員が行い、掲載の委員長賞1作品、優秀賞2作品、佳作5作品を決定しました。

委員長賞および優秀賞は、「第16回 産業廃棄物と環境を考える全国大会(平成29年11月17日 高知県三翠園)」での表彰式にて、表彰状および副賞の授与を予定しています。選ばれた作品は、連合会が労働災害防止を周知する際に用いるなど幅広く活用していく予定です。(調査部・日浦)

優秀賞		安全衛生委員長賞		
<p>なんか変 感じた時こそ 報連相 改善重ねて 安全作業</p> <p>比嘉芳男(宮崎県)</p>	<p>油断せず 慣れた作業も 再点検</p> <p>石井政明(福島県)</p>	<p>ヒヤリで済んだあの教訓 心に刻んで安全作業</p> <p>山中慎竜(東京都)</p>		
佳作				
<p>「ま、いいか」 その一言が 事故まねく</p> <p>笠原典嗣(愛知県)</p>	<p>ほらそこに! 慣れに危険がかくれんぼ</p> <p>中野弘樹(埼玉県)</p>	<p>トップの決意と現場の継続 共に築く 安全文化</p> <p>丸山健一(東京都)</p>	<p>知りながら 守れぬ甘さが 事故のもと 基本に忠実 安全作業</p> <p>中川和也(山口県)</p>	<p>ゼロ災は 願うだけでは 叶わない</p> <p>木村和彦(神奈川県)</p>

埼玉県協会・労働安全衛生大会を開催

一般社団法人埼玉県環境産業振興協会は、平成29年9月28日、さいたま市内において、協会初の労働安全衛生大会を開催し130名が参加しました。

県内では、産業廃棄物処理業における労働災害が多発していることから、労働災害防止活動の推進と安全衛生意識の高揚を図るため実施したものです。

大会は、小林増雄会長から「皆様の知恵を出し合って、安全な職場づくりに取り組みましょう。」と開会挨拶があり、続いて、来賓の埼玉県産業廃棄物指導課の酒井辰夫課長から「環境産業へとステージアップするためには、作業者の安全や労働環境の確保が大前提」と挨拶がありました。続いて、この大会を企画・運営した労働安全体制整備事業委員会の木下委員長から趣旨説明が行われました。

講演では、埼玉労働局の富樫講師から「産業廃棄物処理業における労働災害の発生状況と安全衛生」について、中央労働災害防止協会の藤原講師から「産業廃棄物処理業における安全衛生水準の向上に向けて」と題する講演がありました。

会員企業の優れた取組の事例発表では、(株)木下フレンドの木村・渋谷氏から「みんなでつくる安全職場」、株式会社クワバラ・パンぷキンの桑原氏から「リスクの先取りとコミュニケーションの取組」について発表があり、講師から「基本を押さえた取組であり、ハード、ソフト両面から隙間なく実施している。」と講評がありました。最後に、高澤副会長と参加者一同による安全宣言の唱和が行われ、安全に取組む決意を新たにしました。（報告・一般社団法人埼玉県環境産業振興協会）



挨拶する小林埼玉県協会会長



労働安全衛生支援のためのパンフなど作成

連合会では、産業廃棄物処理業者における安全衛生に関する取り組みを支援するため、次の安全衛生に係わるチラシ、パンフレット、チェックリストを作成しましたので、ご紹介します。

(調査部・戒能)

●安全で健康な職場作りのために

平成29年度から平成31年度の3年間で全ての都道府県において死傷者数を20%以上減少させることを目標として、各都道府県協会と連合会が一丸となって取り組んでいることをお知らせするためのチラシです。その裏には、労働安全衛生法で定められた内容を確認するための簡単なチェックリストがあります。

<http://www.zensanpairen.or.jp/disposal/07/keikakupanfu.pdf>



●見直そう！安全衛生活動～従業員が朝来た時と同じ状態で帰れる職場作りを～



本パンフレットは安全衛生の重要性や安全衛生に係る基本的な取り組み、連合会で作成している支援ツール等を紹介しています。

<http://www.zensanpairen.or.jp/disposal/07/anzenpanfu03.pdf>

●安全衛生チェックリスト【平成29年10月改訂版】

本チェックリストは、各事業場の安全衛生活動への取組状況を自己診断するためのツールとして活用可能な内容となっています。

<http://www.zensanpairen.or.jp/disposal/07/checklist02.pdf>



平成29年度産業廃棄物処理実務者研修会 基礎コース 一学ぼう産廃 あなたの知識の再確認

「改正廃棄物処理法」(6月16日公布)も紹介します!

※本研修会は、継続学習制度(CPDS)の講習会
(一般社団法人全国土木施工管理技士連合会)に認定されています。

1. 目的

この研修会は、産業廃棄物を取り扱う方々の実務に必要な委託契約、マニフェスト(産業廃棄物管理票)、帳簿等の産業廃棄物の幅広い基礎知識を学び、初心者から経験者まで、多くの方々に知識の習得、再認識をしていただくことを目的としております。

産業廃棄物処理の実務を行ううえで、排出事業者も処理業者もやらなければならないこと、知らなければならないことは、たくさんあります。実務を学んで産業廃棄物処理の適正処理を進めましょう!

2. 受講対象者：排出事業者及び処理業者における産業廃棄物を取り扱う実務担当者

3. 開催期日

	開催地	開催期日	会場名	定員
1	石川県	平成29年11月21日(火)	石川県地場産業振興センター	100
2	京都府	平成30年1月18日(木)	京都テルサ	150
3	高知県	平成30年1月24日(水)	高知会館	150
4	東京都	平成30年2月6日(火)	ベルサール西新宿	150
5	滋賀県	平成30年2月16日(金)	ピアザ淡海	150
6	香川県	平成30年2月21日(水)	ホテルマリパレスさぬき	150
7	岐阜県	平成30年3月2日(金)	OKBふれあい会館	120

4. 研修内容(受付は午前9:30からです。)

10:00	12:00	12:50	13:10	14:30	16:00	16:30
産業廃棄物処理の基礎	昼休み	質疑応答	産業廃棄物の委託処理と委託契約	産業廃棄物管理票・帳簿	質疑応答・修了証の交付	

5. 受講料(テキスト代含む)：7,200円(税込)

6. 受講申込・問合せ先

受講を希望される方は、(公社)全国産業廃棄物連合会のHP(<http://www.zensanpairen.or.jp>)からのインターネット申込み又は受講申込書を下記問い合わせ先より入手いただきFAXにてお申込下さい。

なお、各会場は、定員になり次第、締め切らせて頂きます。

<問合せ先> (公社)全国産業廃棄物連合会 事業部

〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17 第2ABビル4F

TEL 03-3224-0811 <http://www.zensanpairen.or.jp>

7. 実施機関 (公社)全国産業廃棄物連合会 協力機関

- (一社)東京都産業廃棄物協会、(一社)石川県産業廃棄物協会、(一社)岐阜県産業環境保全協会、
- (一社)滋賀県産業廃棄物協会、(公社)京都府産業廃棄物協会、(一社)香川県産業廃棄物協会、
- (一社)高知県産業廃棄物協会

●INDUST 11月号特集「産業廃棄物処理業の振興—挑戦する企業の“力”」●

今年11月、全国産業廃棄物連合会は約3年間にわたる専門家の作業チーム「タスクフォース」で検討を重ねてきた振興法案の大綱を取りまとめ、公表しました。大綱は、立法府での検討が期待されます。

先立つ5月には、環境省の設置する検討委員会でも「産業廃棄物処理業の振興方策に関する提言」が打ち出されています。

あらゆる分野で、資源循環のプロフェッショナルとしての産廃処理業への期待が高まる一方、特に中小処理業企業の経営にとって、過当競争や人手不足など、多くの今日的な課題が報告されています。業界・企業にとっての振興策とはなにか。どのように困難に立ち向かうのでしょうか。 (事業部・東方)

- 主な行事予定 - (11月16日~12月6日)

【11月】

- 16日 青年部協議会第8回カンファレンス (徳島)
- 17日 第16回産業廃棄物と環境を考える全国大会
(高知)
- 21日 人材育成方策検討会
産業廃棄物処理実務者研修会 (石川)
能力アップセミナー (~22日 営業、東京)

【12月】

- 1日 正会員事業研修
- 6日 安全衛生委員会

